

LAW

Local Area News

組合員従業員向け スキルアップ講習会を開催

Happiness Care(協)

3月17日、組合員の従業員を対象に、オンラインによりSDGsに関する講習会を開催した。講師は環境カウンセラーの富所哲平氏。富所氏は、SDGsの概要や考え方を解説し、特に組合員が実施する介護事業は、それ自体が利用者に対する健康・福祉の提供であり、SDGsへの貢献となると説明した。他方で、利用者送迎時のガソリン浪費や食品ロス等が多ければ、SDGsに沿わない取組みとなってしまうと注意を促した。



講習会はZoomを活用して実施された

県内高齢者施設に車いすを寄贈

群馬県遊技業(協)

社会貢献活動の一環として、群馬ヤクルト販売(株)と共同で、群馬県健康福祉部を通じて、県内各地の高齢者施設に車いす6台を寄贈した。この取組みに対する感謝状贈呈式が3月23日、県庁で開かれた。式典では森山秀夫理事長が挨拶し、目録

を贈呈。県の武藤幸夫健康福祉部長(当時)から感謝状が贈られた。車いすの寄贈は平成26年から継続的に行っており、今回で9回目となる。



感謝状を手にする森山理事長(左)、武藤部長(右)

業界として消費税インボイス制度の 対応を検討

赤帽群馬県軽自動車運送(協)

4月2日、前橋市・前橋商工会議所会館において、消費税インボイス制度について講習会を開催した。講師は、全国赤帽軽自動車運送協同組合連合会事務局長・嵯峨徹也氏。嵯峨氏は、インボイス制度の影響として、現状多くの組合員が免税事業者であることから、「法人顧客の喪失」や「取引相手となる組合の税負担増大」等が懸念されると説明した。これに対し、連合会が検討・調整を進めている免税事業者が活用できる対応案を紹介した。しかし、対応案には事務処理の煩雑化などデメリットもあるため、課税事業者への転換を検討するよう呼び掛けた。



県内各地より多くの受講者が集まった